

今井月選手(右)を激励する市原賢人室長＝長野県



世界水泳へ 今井選手激励

バローHD関係者 合宿地を訪問

水泳の世界選手権(7月・福岡市)に向けて長野県内で準高地合宿を行っているバローホールディングス(HD)所属の今井月選手(22)を応援しようと、同社の関係者が30日、現地を訪れて激励した。

競泳女子200メートル平泳ぎに出場する今井選手は、4月の日本選手権を自己ベストで制し、2017年以来6年ぶりの世界選手権出場を果たした。本年度からバローHDと所属契約を結んでいる。

今井選手は学生時代から所属契約を結ぶ東京ドームスポーツの合宿地で練習しており、バローHD管理本部IR室兼広報室の市原賢人室長ら3人が現地を訪問。「本番も応援に行くので、伸び伸びと頑張ってください」と田代正美会長兼CEOからのメッセージを伝え、スキンケア用品や、同社人材開発センター「嫩葉舎」(可児市大森)の食堂オリジナルスライスを手渡した。

(浜田悠)